

〈液晶プロジェクタでの発表方法について〉

講演には**液晶プロジェクタのみ**を使用することができます。液晶プロジェクタによる発表は、講演者**各自がパソコンを持参**し、会場備え付けの切り換え器に接続して行っていただきます。OHPは使用できませんのでご注意ください。

平成 20 年企画発表プログラム

(2008 年 3 月 7 日現在)

◆◆◆◆◆ 第 1 日 3 月 27 日 (木) ◆◆◆◆◆

地球温暖化対策技術に関する研究の進展

コンベンションホール

講演 番号	開始 時刻	講 演 題 目	○講演者・共同研究者
	9:55	企画者挨拶	島田荘平(東大) 司会 島田荘平(東大)
A-1	10:00	CO ₂ 海洋隔離技術の現状	東大○佐藤 徹
A-2	10:20	海洋生物への CO ₂ 致死影響と予測無影響濃度	環境総合テクノス○渡辺雄二, 海洋生物環境研究所 喜田 潤
A-3	10:40	Numerical Simulation on the Leakage of Purposefully Stored CO ₂ from the Seabed into Uniform Flows	Tokyo Univ. ○ Yuki KANO ・ Toru SATO
A-4	11:00	マルチガス削減による気候変動安定化：統合評価モデルを用いた分析	エネルギー総合工学研究所○黒沢厚志
A-5	11:20	帯水層貯留における CO ₂ 挙動モニタリングの現状と課題	京大○薛自求・松岡俊文
A-6	11:40	二酸化炭素炭層固定化技術開発予備実験の成果と課題について	環境総合テクノス○小牧博信・松見哲幸・藤田眞仁・川端秀樹・山本茂夫・名子雅夫 石炭エネルギーセンター 藤岡昌司
	12:00 〈昼食 70 分〉	
A-7	13:10	地球温暖化問題の動向とわが国の取組み	経済産業省○中尾信典
	14:00 〈休憩 10 分〉	
A-8	14:10	岩石内気泡トラップに関する基礎的研究	徳島大○末包哲也・Nguyen Hoan Thanh・松本拓也・西岡義教・清田正徳
A-9	14:25	CO ₂ 地中貯留深度での地下水と地化学的 CO ₂ トラッピング	産総研○奥山康子・當舎利行・徂徠正夫・佐々木宗建・村岡洋文
A-10	14:40	一般帯水層貯留における地下での CO ₂ 挙動 - 東京湾岸モデルの検討	産総研○當舎利行・石戸経士・丸井敦尚・奥山康子・高橋美紀
A-11	14:55	二酸化炭素の軟岩中の炭層固定のモニタリングについて	シンクタンク京都自然史研究所○西村 進・桂 郁雄 環境総合テクノス 小牧博信・藤田眞仁・山本茂夫・名子雅夫
A-12	15:10	非燃焼方式超臨界 CO ₂ 石炭地下ガス化回収 (CO ₂ -UCG) による地球温暖化防止の可能性	早大○小出 仁
	15:25 〈休憩 15 分〉	
A-13	15:40	超臨界 CO ₂ ・N ₂ 注入にともなう石炭試料のひずみ及び浸透率測定	幌延地圏環境研究所○西本壮志・木山 保・石島洋二, 京大 薛自求 環境総合テクノス 山本茂夫, 石炭エネルギーセンター 藤岡昌司
A-14	15:55	デジタルマイクロスコープによる石炭のガスによる膨縮の観察	北大○大賀光太郎・芹沢多紀子, 環境総合テクノス 名子雅夫

- A-15** 16:10 炭種による CO₂, CH₄ 吸着量の時間変化の違い
東大○崎元尚土・島田荘平・曾根敏裕, 産総研 海保 守・安田 肇・山田 理
- A-16** 16:25 Pulse NMR 法を用いた炭層メタンの形態評価
北大○熊谷治夫
- A-17** 16:40 石炭に対する CO₂, CH₄, N₂ 吸着熱の炭種による比較
東大○崎元尚土・島田荘平・東 義猛, 産総研 海保 守・安田 肇・山田 理

粉体精製工学の資源処理への最近の展開

第5会場

講演番号	開始時刻	講演題目	○講演者・共同研究者
			司会 芝田準次(関西大), 藤田豊久(東大)
B-1	10:00	廃自動車シュレッダーダスト(ASR)の分級と粉砕	九大○古山 隆
B-2	10:30	天然ガスハイドレートペレットの充填と排出	東大○岡屋克則
B-3	11:00	リン酸セリウム-リン酸チタン系紫外線遮断剤とその製造方法	大阪大○増井敏行・今中信人
B-4	11:30	廃棄物リサイクルへの水中爆破破砕の応用	日本工機○村田健司・鹿住 孝・加藤幸夫, 東大 藤田豊久

コンタミレス粉砕技術における今後の課題

第5会場

講演番号	開始時刻	講演題目	○講演者・共同研究者
			司会 遠藤茂寿(産総研)
C-1	13:00	粉砕操作・分散操作におけるコンタミの発生	産総研○遠藤茂寿
C-2	13:25	媒体を利用した粉砕における摩耗の予測	東北大○加納純也・曾田力央・佐藤 英・鈴木裕一朗・齋藤文良
C-3	13:50	転動ミルにおける粉砕媒体磨耗と微粉砕の関係	山形大○小竹直哉・高橋雄介
	14:15	……………〈休憩 15分〉……………	
C-4	14:30	ジェットミルによる粉砕の異物混入防止対策	セイシン企業○伊藤 均
C-5	14:55	講演キャンセル	
C-6	15:55	湿式ジェットミルの概要とコンタミレス粉砕	アドバンスト・テクノロジー○深谷克巳

◆◆◆◆ 第2日 3月28日(金) ◆◆◆◆

資源・素材に関わる産業界の現状と課題

①産業界から学界への配信②資源・素材分野における人材育成

コンベンションホール

講演番号	開始時刻	講演題目	○講演者・共同研究者
			司会 大和田秀二(早大)
	13:00	本セッションのねらいについて	東大○藤田豊久
D-1	13:05	住友金属鉱山における資源開発の戦略と現状	住友金属鉱山○阿部一郎
D-2	13:45	チタン製錬の現状と課題	東邦チタニウム○安保重男

D-3	14:25	シリコン事業の現状と展望	三菱マテリアル○内山直樹
	15:05 〈休憩 15分〉	
D-4	15:20	資源分野における人材育成	東大○山富二郎, 早大 大和田秀二
D-5	15:50	素材分野における人材育成	東北大○中村 崇, 秋田大 大蔵隆彦, 資源・素材学会 岡部 進
	16:20	総合討論	コーディネーター 大和田秀二(早大)

◆◆◆◆◆ **第3日 3月29日(土)** ◆◆◆◆◆

資源探査精度向上のための地質モデリング法・計測法	第5会場
---------------------------------	-------------

講演 番号	開始 時刻	講演 題 目	○講演者・共同研究者
			司会 小池克明(熊大)
E-1	9:15	透水性構造抽出のための亀裂分布モデリング	熊大○小池克明・劉春学, JAEA 天野健治・栗原 新
E-2	9:40	岩石試験におけるカオス理論の適用の試み	京大○陳友晴, 関西大 伊藤俊秀
E-3	10:00	探査データの最適取得	東大○正路徹也
E-4	10:20	鉱物資源探査データ解析における最近の動向	JOGMEC ○鈴木 徹・矢島太郎・久保田博志
	10:40 〈休憩 10分〉	
E-5	10:50	物理探査法による資源調査の最近の動向	熊大○麻植久史
E-6	11:10	海洋資源探査の最近の動向	海洋先端技術研究所○植木俊明
E-7	11:30	放射性廃棄物地層処分の地下科学実験 - 最近の国際動向	産総研○古宇田亮一

鉱業史	第5会場
------------	-------------

講演 番号	開始 時刻	講演 題 目	○講演者・共同研究者
			司会 井澤英二(日本鉱業史研究会)
F-1	13:00	鹿児島県国分銅山の製錬滓についての予察的研究	九大○中西哲也
F-2	13:25	19世紀に生産された鉄道レールについての考察(その2)	日鉄環境エンジニアリング○大石 徹
F-3	13:50	ロボットによる石見銀山間歩内部の調査	松江高専○久間英樹・皆尾登志美・福岡久雄・内村和弘, しまね産業振興財団 石原恵利子
	14:15 〈休憩 10分〉	
			司会 中西哲也(九大)
F-4	14:25	江戸期九州南部の鉱山における銅製錬法について	日本鉱業史研究会○植田晃一
F-5	14:50	日本が世界最大の産銅国であった時代 - 17/18世紀における世界の銅鉱業	九大○井澤英二
F-6	15:15	慶長3年伏見蔵納直前の佐渡銀600貫匁輸送事件の考察 ～中世における石見銀山と佐渡金銀山の運上額の変遷に関する分析～	日本鉱業史研究会○小菅徹也
F-7	15:40	本邦硫黄鉱業興亡史	日本鉱業史研究会○吉田國夫